

情報公開用文書

「徳島大学病院 ER・災害医療診療部がもたらした徳島総合メディカルゾーンにおける ICU 連携強化の効果：徳島県立中央病院 ICU から徳島大学病院への転院搬送症例に関する検討」へのご協力をお願い

1, 研究（調査）の目的と概略

徳島県と徳島大学病院は地理的に隣接する徳島県立中央病院(当院)と徳島大学病院の連携を強化し、両病院の特徴と特性を最大限に活かすために「徳島総合メディカルゾーン構想」を推進してきました。本構想では、メディカルブリッジをはじめとするハード面だけでなく、救急医療を担う医師等の養成や派遣などのソフト面での連携強化を行ってきました。

この連携強化によって生じた当院 ICU から大学病院への転院搬送症例を後方視的に検討し、その患者背景、臨床的特徴などを明らかにすることで、徳島総合メディカルゾーン構想がもたらした ICU 間連携の効果を客観的に評価することを目的としています。

2, 研究（調査）の方法

対象患者様の身体情報、治療内容、転帰等の通常診療で得られる情報を電子カルテより収集します。氏名等の個人の特定が可能なデータとカルテから転記した情報は研究 ID を用いて連結可能匿名化をしたうえで保管します。

3, 研究（調査）の参加施設

当院のみの観察研究です。

4, 調査期間

調査期間 2018 年 4 月 1 日から 2029 年 3 月 31 日まで

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に当院 ICU に入室し、徳島大学病院に転院された患者様です。

6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。